

研究課題名	乾癬性関節炎の発症および重症化リスク要因の調査
研究の意義・目的	皮膚の病気の一つ「乾癬」に脊椎関節炎（SpA）が合併することが知られており、乾癬性関節炎（PsA）といます。脊椎関節炎が合併すると、四肢の関節や脊椎・仙腸関節に炎症が生じ、その部位の構造が破壊された結果、日常生活動作に支障が出てまいります。しかしながら、その詳細は不明な点が多く、乾癬に合併する SpA の割合や、SpA を合併しやすい乾癬の患者さんの特徴、SpA が重症になりやすい乾癬患者さんの特徴などは不明のままです。この様な点が明らかになれば、乾癬患者さんの病状をより良い方向に導けます。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ <u>2030年12月</u>
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2015年4月～2030年12月に大阪公立大学医学部附属病院の皮膚科、膠原病内科、整形外科で、乾癬または乾癬性関節炎のため受診された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	あなたの診療情報（下記）を研究のために使わせて頂きます。 診療情報等：【病名、ID、氏名、性別、生年月日・身長・体重・BMI・皮膚科初診日、膠原病・リウマチ内科/整形外科初診日、併存症、既往歴、その他合併症、家族歴、喫煙、飲酒、皮膚症状発症時期、皮膚罹患年、運動器症状発症時期、関節罹患の有無、炎症性背部痛、付着部圧痛の有無、皮膚病変評価、関節評価、関節症状に対する治療歴、採血・尿検査、心電図、X線・骨密度検査、関節炎・付着部炎評価、関節エコー評価】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院 皮膚科、膠原病内科、整形外科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院 皮膚科、膠原病内科、整形外科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 高齢者運動器変性疾患制御寄附講座 研究責任者 岡野 匡志
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 高齢者運動器変性疾患制御寄附講座 （担当者氏名）岡野 匡志 電話番号：(06) 6645—3851